

Umbrellaのお客様の自動アップデートの未来について

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

はじめに

このドキュメントでは、AnyConnect ClientのUmbrellaダッシュボードの自動更新機能について説明します。

概要

2024年8月21日アップデート：先に通知したように、1回限りの自動アップデートを[Cisco Secure Client 5.1.5.65\(MR5\)](#)に適用しました。Cisco Secure Client 5.1 MR5は、Umbrellaマネージドクラウドの自動アップデートをサポートします。

初版：2024年5月23日：

お客様からの貴重なご意見を受け、シスコはAnyConnect ClientのUmbrellaダッシュボードからの自動更新サポートを拡張して、Cisco Secure Client 5.xを追加することを決定しました。そのため、AnyConnect Clientバージョン4.xから新しいCisco Secure Client 5.xへのUmbrella自動更新ベースの移行のタイムラインを延長する必要があります。

2023年3月31日にAnyConnect 4.xの[サポート終了が発表](#)された後、最初はアップデートがクラウドを通じて最後の4.10リリースまでシームレスに継続されました。シスコでは、前述のサービスアップデートの発表に従い、2024年3月31日のAnyConnect 4.10のソフトウェアメンテナンス終了日に、最新のCisco Secure Client 5.xに対するシングルクラウド自動アップデートの準備を行いました。

スムーズで快適な移行の重要性を理解したシスコは、Cisco Secure Client 5.xバージョンに対してワンタイムアップデートを提供します。このバージョンは、将来のUmbrellaマネージド自動アップデートと互換性があります。これは、AnyConnectからCisco Secure Client 5.xに移行するお客様の自動アップデートサポートにギャップがないようにするためです。言い換えれば、Secure Client 5.1.4の現在のバージョンに対して1回限りのアップデートを行った場合、そのバージョンは今後のUmbrella管理の自動アップデートと互換性ありません。このため、お客様は手動で、Umbrellaマネージドクラウドの自動アップデートをサポートする、まだリリースされていないバージョンのSecure Client 5.xに再度アップグレードする必要があります。

クラウドに配布されたアップデートをご利用のお客様は、2024年8月までにCisco Secure Client 5.xへのワンタイムアップデートをご利用いただけます。これにより、お客様はこの変更を計画および準備するための時間を確保できます。

Umbrella Roaming Clientをインストール済みで、Cisco Secure Clientへのアップグレードに関心のあるお客様は、サードパーティ製のクライアント管理ソフトウェアツールを使用して、Umbrella Roamingクライアントの上にCisco Secure Clientをインストールする必要があります。これにより、Cisco Secure ClientはUmbrella Roamingクライアント設定を継承します。Secure Client 5.1.4の現在のバージョンは、Umbrellaマネージドクラウドの自動更新と互換性がありません。クラウドマネージド型の自動更新を重要と考えるお客様は、Umbrellaマネージド型のクラウド自動更新をサポートするSecure Client 5.xの今後のバージョンを待つことをお勧めします。

Cisco Secure Client 5.1.4の最新バージョンへのアップデートを選択したMSP以外のお客様は、Cisco Secure Client Cloud Managementへの切り替えを検討できます。クライアント管理機能は、SecureX EOLの一部として廃止されるのではなく、Cisco Security Cloud Controlサービスに移行するだけです。詳細については、「[SecureX EoL後のSecure Client Cloud Managementへのアクセス - シスコのブログ](#)」を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。